

高等学校 令和7年度（2学年用） 教科 商業 科目 財務会計Ⅰ

教科：商業 科目：財務会計Ⅰ 単位数：3 単位

対象学年組：第2学年 A組 F組

使用教科書：（財務会計Ⅰ（東京法令出版））

教科 財務会計Ⅰ の目標：

- 【知識及び技能】商業の各分野について体系的・系統的に理解するとともに、関連する技術を身に付けるようにする。
- 【思考力、判断力、表現力等】ビジネスに関する課題を発見し、職業人に求められる倫理観を踏まえ合理的かつ創造的に解決する力を養う。
- 【学びに向かう力、人間性等】職業人として必要な豊かな人間性を育み、よりよい社会の構築を目指して自ら学び、ビジネスの創造と発展に主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。

科目 財務会計Ⅰ の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
財務会計について実務に即して体系的・系統的に理解するとともに、関連する技術を身に付けるようにする。	企業会計に関する法規と基準及び会計処理の方法の妥当性と課題を見だし、ビジネスに携わる者として科学的な根拠に基づいて創造的に課題に対応するとともに、会計的側面から企業を分析する力を養う。	会計責任を果たす力の向上を目指して自ら学び、適切な会計情報の提供と効果的な活用に主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学期	銀行勘定調整表・有価証券、満期保有目的債券 商品の評価・有形固定資産 無形固定資産、繰延資産	銀行勘定調整表の理解、有価証券の購入・売却に関わる取引と記帳、期末における商品の評価（商品評価損・棚卸減耗損）に関わる処理、有形固定資産の購入・売却・買い換え・除却に関する取引と記帳、無形固定資産と繰延資産に関する理解・取引と記帳	【知識・技術】 財務諸表の貸借対照表項目について実務に即して体系的・系統的に理解するとともに、関連する技術を身に付けるようにする。  【思考・判断・表現】 財務諸表に関する法規と基準及び会計処理の方法の妥当性と課題を見だし、ビジネスに携わる者として科学的な根拠に基づいて創造的に課題に対応するとともに、会計的側面から企業を分析する力を養う。	○	○	○	12
	リース取引 引当金 保証債務 手形	借り手の会計処理を中心とした学習、引当金に関する理解・記帳、保証債務に関する理解・記帳、手形の裏書・割引・不渡り・更新に関する理解・記帳	【主体的に学習に取り組む態度】 会計責任を果たす力の向上を目指して自ら学び、適切な会計情報の提供と効果的な活用に主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。	○	○	○	9
	定期考査			○	○		1
	外貨換算会計 未決算 消費税、法人税	外貨建取引の換算・決算時の換算替えおよび為替予約の処理、災害発生時の保険金請求に関する理解・記帳、国税と地方税の違い、中間申告と確定申告の税金処理	【知識・技術】 財務諸表の貸借対照表項目について実務に即して体系的・系統的に理解するとともに、関連する技術を身に付けるようにする。  【思考・判断・表現】 財務諸表に関する法規と基準及び会計処理の方法の妥当性と課題を見だし、ビジネスに携わる者として科学的な根拠に基づいて創造的に課題に対応するとともに、会計的側面から企業を分析する力を養う。	○	○	○	10
	伝票会計 特殊商品売買 資本金、資本準備金 事業譲受、合併 課税所得の算定と税効果会計	伝票の利用による記帳の合理化、3伝票の起票・集計・転記の処理、割賦販売・未着商品売買・委託販売・試用販売などの特殊な商品売買に関する取引・記帳、株式会社の純資産、設立時・新株の発行時の記帳、創立費・開業費・株式交付費の処理、企業の買収や合併について理解・記帳、法人税法上の利益である課税所得の算定方法と税効果会計	【主体的に学習に取り組む態度】 会計責任を果たす力の向上を目指して自ら学び、適切な会計情報の提供と効果的な活用に主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。	○	○	○	11
定期考査			○	○		1	
2 学期	剰余金 社債 研究開発費 精算表 財務諸表 株主資本等変動計画書 本店会計	株式会社と個人商店での当期純損益の決算振替の違い、配当金の会社法での制限、社債による資金調達・発行・償還に関する取引・記帳、引当金に関する取引・記帳、精算表と損益計算書・貸借対照表の作成能力、株主資本等変動計算書の作成能力、本店の財務諸表を合併、未達取引の整理方法	【知識・技術】 株主資本等変動計算書と純資産、連結会計について実務に即して体系的・系統的に理解するとともに、関連する技術を身に付けるようにする。  【思考・判断・表現】 財務諸表に関する法規と基準及び会計処理の方法の妥当性と課題を見だし、ビジネスに携わる者として科学的な根拠に基づいて創造的に課題に対応するとともに、会計的側面から企業を分析する力を養う。  【主体的に学習に取り組む態度】 会計責任を果たす力の向上を目指して自ら学び、適切な会計情報の提供と効果的な活用に主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。	○	○	○	22
	定期考査			○	○		1
	連結会計 日商簿記検定の対策 全商簿記検定の対策	連結財務諸表の概略・作成方法・支配獲得日の連結、模擬試験問題集の模擬問題を中心とした問題演習、日商簿記検定との違い	【知識・技術】 株主資本等変動計算書と純資産、連結会計について実務に即して体系的・系統的に理解するとともに、関連する技術を身に付けるようにする。  【思考・判断・表現】 財務諸表に関する法規と基準及び会計処理の方法の妥当性と課題を見だし、ビジネスに携わる者として科学的な根拠に基づいて創造的に課題に対応するとともに、会計的側面から企業を分析する力を養う。  【主体的に学習に取り組む態度】 会計責任を果たす力の向上を目指して自ら学び、適切な会計情報の提供と効果的な活用に主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。	○	○	○	18
	定期考査			○	○		1
3 学期	検定受験対策	模擬試験問題集の模擬問題を中心とした問題演習、1年間学習したことの振り返り	【知識・技術】 株主資本等変動計算書と純資産、連結会計について実務に即して体系的・系統的に理解するとともに、関連する技術を身に付けるようにする。  【思考・判断・表現】 財務諸表に関する法規と基準及び会計処理の方法の妥当性と課題を見だし、ビジネスに携わる者として科学的な根拠に基づいて創造的に課題に対応するとともに、会計的側面から企業を分析する力を養う。  【主体的に学習に取り組む態度】 会計責任を果たす力の向上を目指して自ら学び、適切な会計情報の提供と効果的な活用に主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。	○	○	○	19
	定期考査			○	○		合計

